心身健康学科第２次選考問題例

次ページ以下は、奈良女子大学総合型選抜　探究型入試「Q」の生活環境学部心身健康学科第２次選考において課する「課題（当日提示）のプレゼンテーションおよび質疑応答」の問題例です（※）。

試験時間 90 分のうち、60 分で課題に取り組み、プレゼンテーション内容を考え、その後、30 分間で面接（プレゼンテーションおよび質疑応答）を行います。面接時は課題について 10 分程度のプレゼンテーションを含みます。

※　第２次選考の内容
健康に関わる内容のデータ（図表）を読み解き、その後、口頭でプレゼンテーションと質疑応答を行い、総合的に判断します。プレゼンテーション時には、出題された図表はこちらで提示できるようにします。

問題例 1

日本は世界最高レベルの高齢化率であり、健康的な生活を生涯維持していくことは、QOL の向上につながり、重要な課題となっている。下に示す図表は、日本人の寿命や死因を示している。

（1）これらの図表から読み取れる内容を要約しなさい。

（2）健康や死因に性差がみられる原因について、論述しなさい。

（3）心身ともに健康的な高齢期を過ごすために、国や行政ができること、学校や会社ができること、家族や個人ができることについて、あなたの考えを論述しなさい。

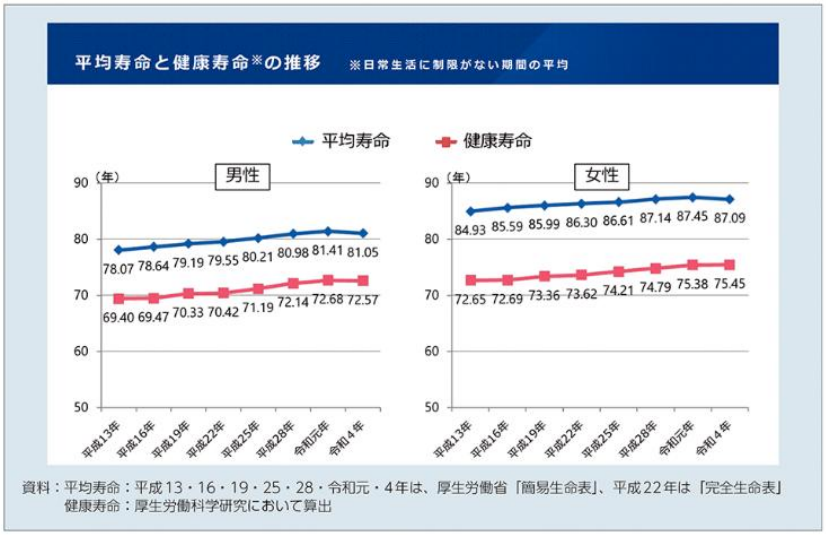


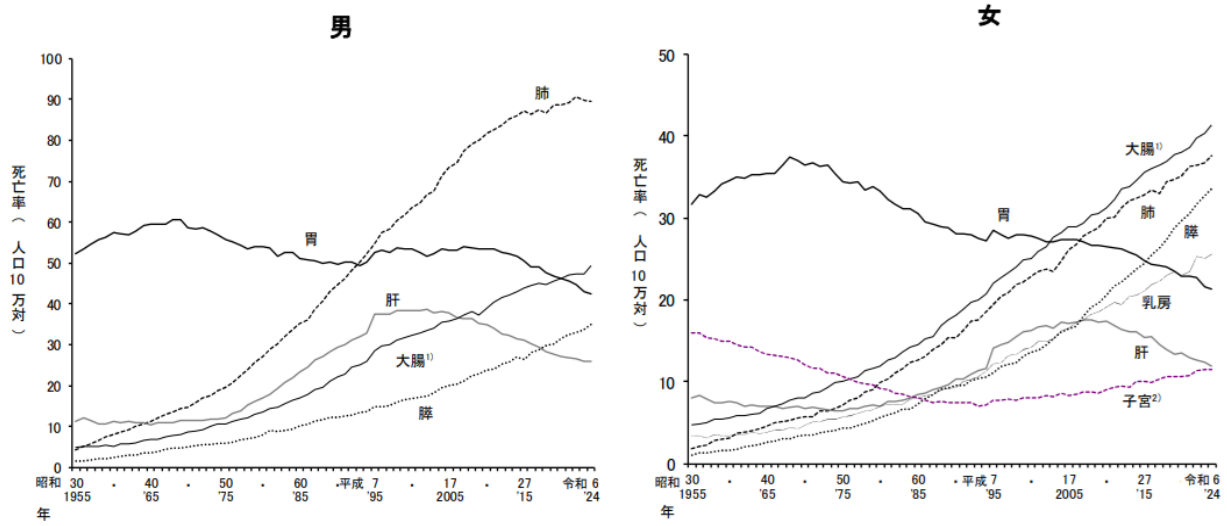
図 1 日本人の平均寿命と健康寿命

※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を指す。

表 1 日本人の性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口１０万対）

死因	令和 6 年(2024)								令和 5 年(2023)		
	死因順位	総数		死因順位	男		死因順位	女		死因順位	総数	
		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率		死亡数(人)	死亡率
全死因		1 605 298	1 334.5		819 644	1 402.3		785 654	1 270.3		1 576 016	1 300.4
悪性新生物〈腫瘍〉	(1)	384 099	319.3	(1)	221 782	379.4	(1)	162 317	262.5	(1)	382 504	315.6
心疾患（高血圧性を除く）	(2)	226 277	188.1	(2)	111 347	190.5	(3)	114 930	185.8	(2)	231 148	190.7
老衰	(3)	206 882	172.0	(3)	58 793	100.6	(2)	148 089	239.4	(3)	189 919	156.7
脳血管疾患	(4)	102 808	85.5	(4)	51 166	87.5	(4)	51 642	83.5	(4)	104 533	86.3
肺炎	(5)	80 171	66.6	(5)	46 523	79.6	(5)	33 648	54.4	(5)	75 753	62.5
誤嚥性肺炎	(6)	63 665	52.9	(6)	37 903	64.8	(6)	25 762	41.7	(6)	60 190	49.7
不慮の事故	(7)	45 689	38.0	(7)	25 953	44.4	(7)	19 736	31.9	(7)	44 440	36.7
新型コロナウイルス感染症	(8)	35 865	29.8	(8)	20 434	35.0	(9)	15 431	25.0	(8)	38 086	31.4
腎不全	(9)	29 661	24.7	(9)	16 035	27.4	(11)	13 626	22.0	(9)	30 208	24.9
アルツハイマー病	(10)	25 590	21.3	(16)	8 881	15.2	(8)	16 709	27.0	(10)	25 453	21.0

注：1）死因順位に用いる分類項目（死因簡単分類表から主要な死因を選択したもの）による順位である。
2）男の 10 位は「間質性肺疾患」で死亡数は 16,021、死亡率は 27.4 である。
3）女の 10 位は「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数は 15,406、死亡率は 24.9 である。
4）「結核」は死亡数が 1,461、死亡率は 1.2 である。
5）「熱中症」は死亡数が 2,152、死亡率は 1.8 である。



注：１） 大腸の悪性新生物＜腫瘍＞は、結腸の悪性新生物＜腫瘍＞と直腸Ｓ状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞を示す。ただし、昭和 42 年までは直腸肛門部の悪性新生物を含む。
２） 平成６年以前の子宮の悪性新生物＜腫瘍＞は、胎盤を含む。

図２ 日本人の悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別にみた死亡率（人口１０万対）の年次推移

<出典>
表１: 厚生労働省令和６年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況　表７ 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口１０万対）
https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/25/backdata/01-01-03-07.html?utm_source=chatgpt.com

図 1: 令和７年版厚生労働白書　次世代の主役となる若者の皆さんへ－変化する社会における社会保障・労働施策の役割を知る－ 図 1-3-7　平均寿命と健康寿命の推移
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai24/dl/gaikyouR6.pdf?utm_source=chatgpt.com

図 2: 厚生労働省令和６年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況　概要 PDF　悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別にみた死亡率（人口１０万対）の年次推移
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai24/dl/gaikyouR6.pdf?utm_source=chatgpt.com

問題例 2

（1）図 1 及び図 2 は、スポーツ実施率に関する調査結果である。これらの図から読み取れる結果について説明しなさい。

（2）（1）で説明したことの背景にある要因について考察しなさい。

（3）（1）と（2）を踏まえて、スポーツ実施率の向上にはどのようなことが有効か、あなたの意見を述べなさい。

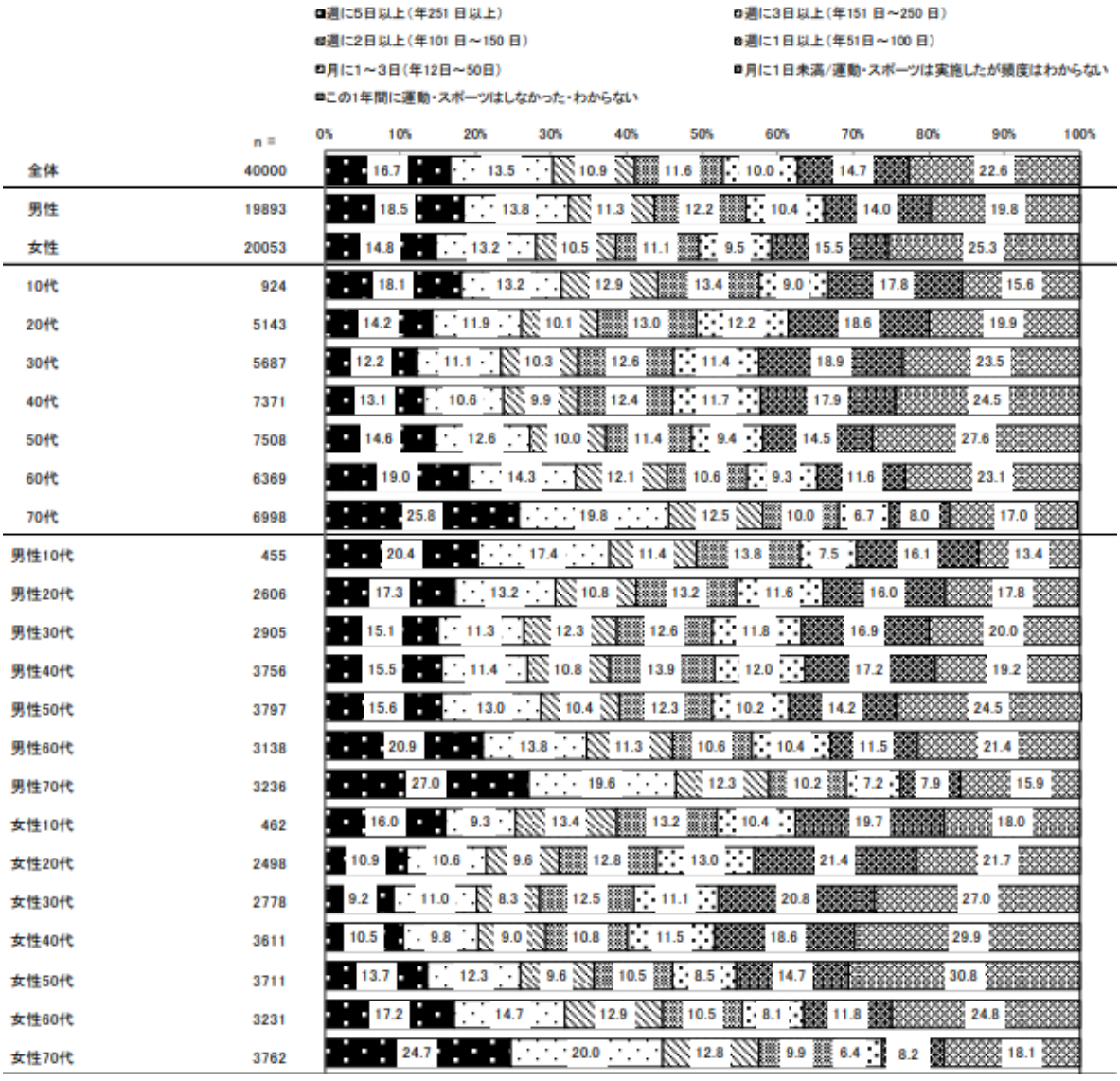


図 1　この 1 年間に行った運動・スポーツの日数、スポーツ実施率

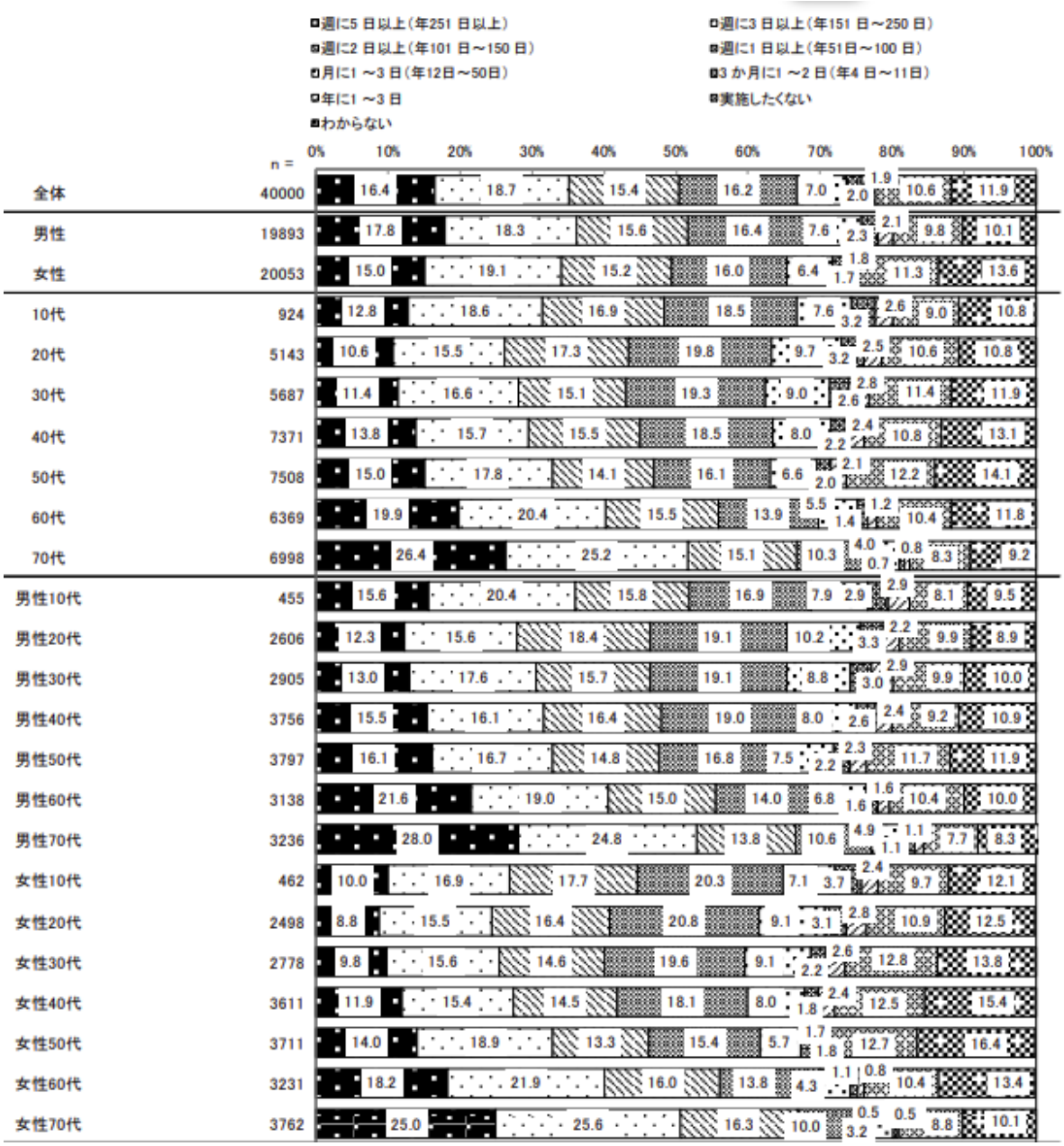


図 2　今後行いたい運動・スポーツの実施頻度

〈出典〉
図 1 及び図 2 はスポーツ庁（2025）令和 6 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」より一部を引用した。

調査結果の全文は、次のウェブサイトで閲覧できます。
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1415963_00013.htm

問題例 3

下記のグラフは、近年のわが国の若者の自殺の状況について示している。

（1）これらのグラフから読み取れることを要約しなさい。

（2）（1）で述べたことの背景にある要因について考察しなさい。

（3）（1）と（2）を踏まえて、若者の自殺対策としてどのようなことが有効か、あなたの意見を述べなさい。

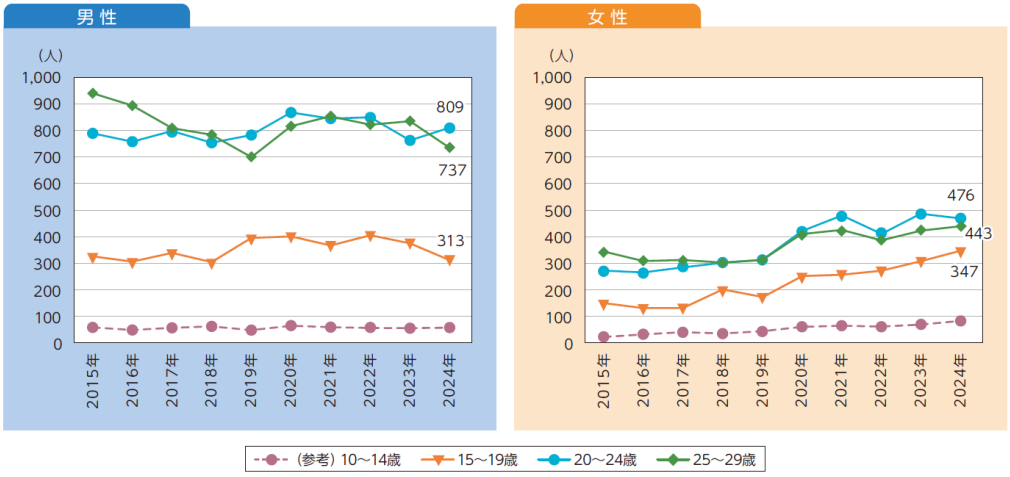
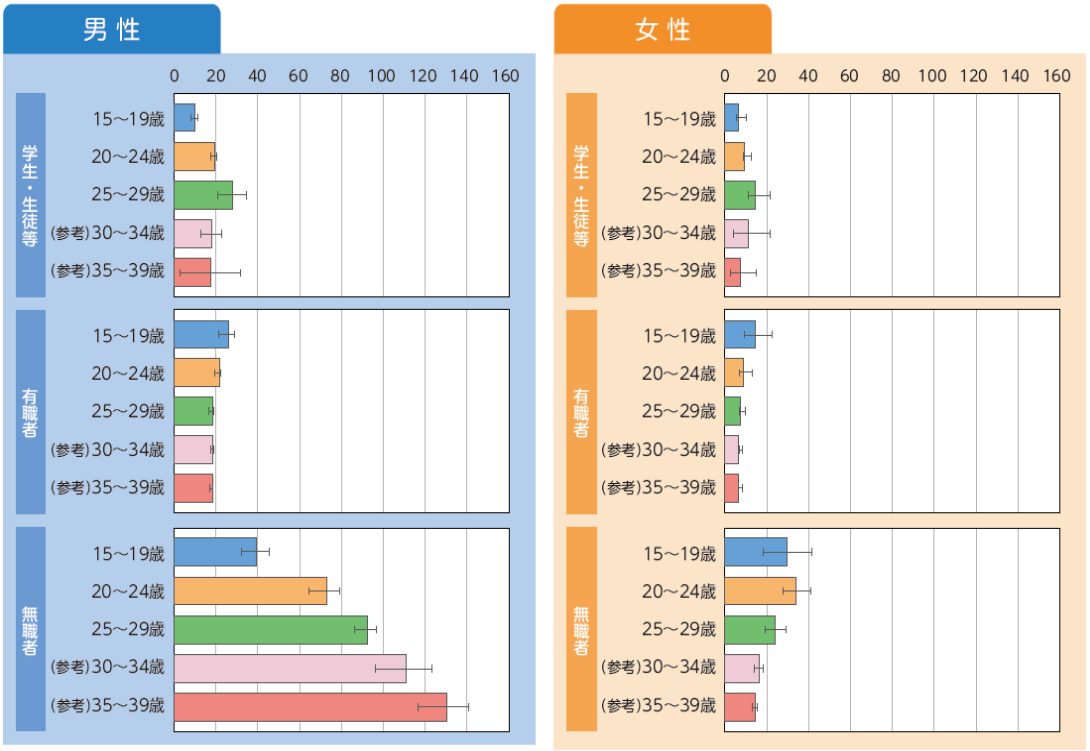


図 1　性別、年齢階級別にみた若者の自殺者数の推移（2015~2024 年）

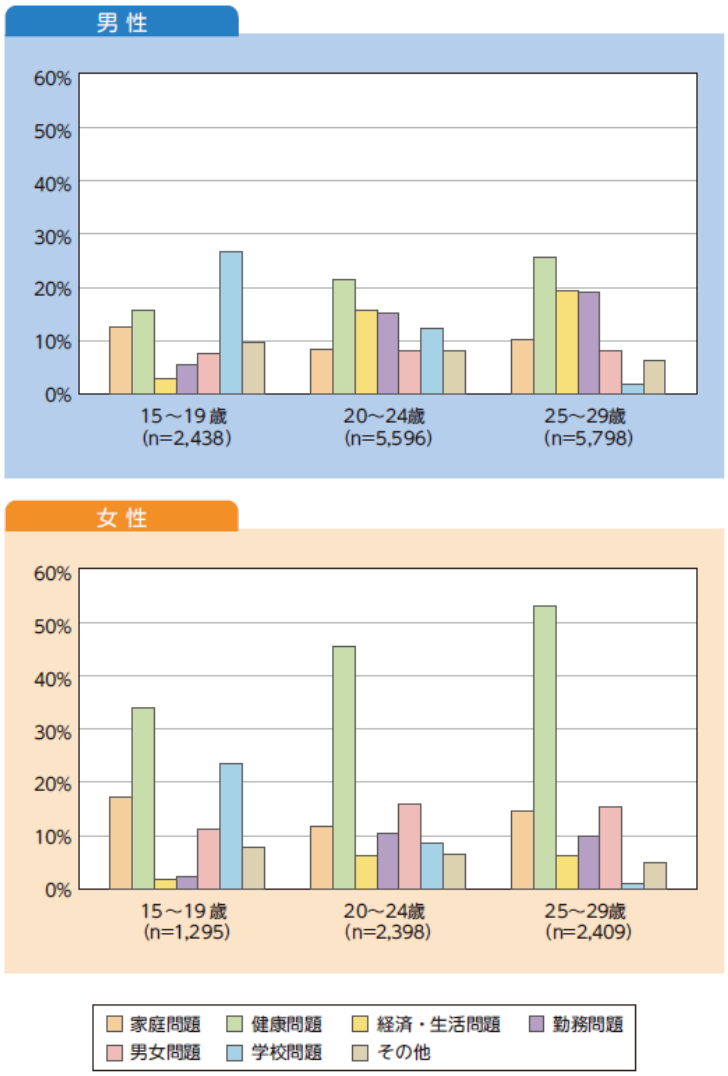


※各棒グラフの先端にエラーバー（標準偏差）を付しており、各年の自殺死亡率の平均値からの差のばらつきを表している。

資料：警察庁自殺統計原票データ、総務省「労働力調査」より厚生労働省作成

図 2　性別、職業別、年齢階級別にみた若者の自殺死亡率（2015~2024 年平均値）

※自殺死亡率とは、人口 10 万人当たりの自殺者数を指す



※自殺の原因・動機は、自殺者１人につき３つまで計上可能であるが、原因・動機の大分類ごとの傾向をみるため、同一の大分類に２つ以上該当している場合には１つとして集計している。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

図３　性別、年齢階級別にみた若者の自殺の原因・動機（大分類）の割合（2015~2021 年）

＜出典＞
厚生労働省　令和７年版自殺対策白書　第２章　第１節　若者の自殺をめぐる状況
図１：図表 2-4 性別、年齢階級別にみた若者の自殺者数の推移（2015~2024 年）
図２：図表 2-7 性別、職業別、年齢階級別にみた若者の自殺死亡率（2015~2024 年平均値）
図３：図表 2-5　性別、年齢階級別にみた若者の自殺の原因・動機（大分類）の割合（2015~2021 年）
令和７年版自殺対策白書は次の厚生労働省のウェブサイトから閲覧できます。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsuhakusyo2025.html